

科目名	教育実習事前指導 Instructions before Teaching Practice						
科目担当者	柴田 博子 SHIBATA Hiroko						
単位数	2	配当年次	3 年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科〔専門教育科目 自由科目〕 経営学部・経営学科〔専門教育科目 自由科目〕					ディプロマポリシーとの関連	(5)(6)
授業の概要	教育実習は、学校現場における実践的経験を通して、教育実践における問題解決能力の基礎を形成し、教職専門領域に関する理解を深め、教師としての成長の第一歩を準備する経験である。本科目では、限られた期間で行われる教育実習が実り多い成果をあげるために、実習前の十分な準備と、実習後にも向後に生かす方法を学ぶ。 そこで、教育実習の目的、意義と性格、教職の難しさと豊かさ、実習期間前・期間中・期間後に留意すべき点などについて理解を深める。また高校等での観察を踏まえ、学生自身による学習指導案の作成と模擬授業を行い、実践力を高める。						
授業の到達目標	①教育実習を理解し、学校の教育活動に責任を持って参画する事前準備ができる。 ②高校等の授業観察を通して、現在の学校と生徒への理解を深め、授業研究に生かすことができる。 ③生徒の実態を踏まえた学習指導案を作成し、模擬授業を実施できる。						
授業計画・内容	1	教育実習の目的・内容について					
	2	教育実習の心得について					
	3	学校の教育活動と学校観察する際の観点について					
	4	鵬翔高等学校・中学校オープンスクールでの学校観察					
	5	観察の振り返り検討会					
	6	生徒の実態について理解を踏まえた学習指導案の立案					
	7	情報通信技術及び教材の効果的な活用と留意点について					
	8	板書の効果的な活用と留意点について					
	9	地理歴史科の模擬授業と振り返り					
	10	公民科の模擬授業と振り返り					
	11	中学校社会科の模擬授業と振り返り					
	12	商業科の模擬授業と振り返り					
	13	情報科の模擬授業と振り返り					
	14	生徒指導上の留意すべきことについて					
	15	教育実習後にすべきことについて					
授業外学修 (事前学修)	毎週の予習と模擬授業の教材研究・学習指導案作成 (30 時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	毎週の復習とレポート作成 (30 時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	授業への積極的な参加、コメントシート提出					20%	①②③
	学習指導案の作成及び模擬授業の実施					50%	②③
	レポート及び定期試験					30%	①②
成績評価基準	秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	免許状取得を希望する教科の『学習指導要領解説』						
参考文献	免許状取得を希望する学校種の『学習指導要領』						
その他	『小学国語 漢字の正しい書き方ドリル 3 年』旺文社 『小学国語 漢字の正しい書き方ドリル 5 年』旺文社 『小学国語 漢字の正しい書き方ドリル 6 年』旺文社 (全員購入のこと)						